

一般質問発言通告書

発言順位 2番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 6月 6日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 17番 野村 諒子

質問事項 1	少子化に伴う適切な三島市の教育のあり方の検討について
具体的内容	コロナ禍の3年が経過し、少子化のスピードが加速し歯止めがかからない状況が続いています。三島市の0歳児数が令和5年4月30日現在で527人となり、10年前と比較すると43%減少しています。この現状を客観的に把握し取り組むことが重要であると感じます。 第2期三島市学校教育振興基本計画では、児童生徒数の減少に伴い、子どもの教育環境を第一に、地域の実情に応じた適切な学校教育のあり方や学校規模の検討を進める必要があるとされていますが、今後検討しようとしている内容について伺います。
	1 出生数の減少と階層別人口の推移と今後の見通しについての見解について 2 坂小学校あり方検討会を実施した背景と今後の進め方について 3 小学校区別児童生徒数の推移と予測から望ましい学校規模の議論が必要と思うがどうか。 4 少子化に伴い望ましい教育環境の実現を図るために、適正な学校規模の検討や適性配置を考慮した「三島市の教育のあり方」を検討すべきと考えるがどうか。
質問事項 2	災害時の事前の備えへの支援と道路許可について
具体的内容	全国で地震が頻発し、地震に備えることの重要性は認識されつつありますが、十分な備えをするには、高齢者世帯などでは非常にハードルの高いものもあります。 そのような中で、十分な水の備えを補助金などにより促すことや、救急搬送時の道路使用許可を出すことが必要ではないかと思い、伺います。
	1 水道管直結型の給水タンクの普及促進はできないか伺う。 水の備えは、家族2人でも10日分で60リットル、日持ちする水でも入れ替えて管理するのは大変である。高齢者世帯が増えている中では十分な備えが難しい場合もある。 そこで、災害時には加圧して使える災害対応型給水タンクを普及できないか伺う。 2 災害時における重傷者救急搬送の道路通行について伺う。 地震等大規模災害時では、通常の救急車での搬送ではなく地域住民が協力して受け入れ病院（三島総合病院）まで重傷者を運ぶケースも考えられる。 その場合に伊豆縦貫道などを通行することについて、警察と協議できないか伺う。
質問事項 3	犬猫の糞の看板（屋外広告物）の適正管理について
具体的内容	三島市は富士伊豆箱根国立公園に接し、屋外広告物は環境に配慮したものとされ「三島市屋外広告物条例」を施行し、適正に管理指導されていると思います。 しかし、一度設置されたものが長年放置され、また、その近くに同じようなものが掲示されるという状況が起きているケースも見られます。設置されたものの管理責任と指導に問題はないのでしょうか。その取り組みについて伺います。
	1 犬猫の糞の始末看板設置の手続きについて伺う。 2 大量の看板が設置された場合、それ自体が美観を損ねているケースがあるが、撤去等の指導はできないか伺う。